



氷見市立 西部中学校

校 長：清水 英行先生

指 導 者：清水 英行先生

発表生徒：文芸部・水環境班
2年(2名)



発表テーマ

ビオトープの再生と水環境調査

かつて、本校の上水道の水源として利用されてきた井戸を再利用して、ビオトープをつくりました。周辺には、氷見市の木であるタブノキが自生しています。また、学校周辺の里山には、溜め池をはじめ、上庄川など豊かな水環境に恵まれています。これからビオトープの造成、生態系、トンボ、そして里山の水環境調査、水辺の植物を紹介します。

清水 英行 先生より

水、土、森などの豊かな自然に触れ、感動体験を表現すること

近くのタブノキを残し、雑木を伐採し、それを丸木橋や魚のすみかに再利用した。水生植物を移植し、学校ビオトープができ、造る喜びを感じた。

水を求めてカエル、トンボ、水生昆虫、そして餌を求めてヘビ、鳶などがやって来た。トンボの羽化、カエルの産卵、水生昆虫の泳ぎなどを間近で観察できた。

夏場に谷筋で、川床に足を入れ、繁茂する植物の匂いや空気の涼しさを感じた。また、サワガニやヨシノボリなどを見つけ、手で触った。

今後は、感じたことを詩や短歌、俳句に表したい。



学校は小窪廃寺跡の小窪にあり、ここに出土した塔の礎石から、奈良時代には大仏伽藍があったと推定される。また能越国境の臼ヶ峰には、大伴家持の歌碑があり、「しおじからわが越え来れば羽咋の海、朝風したり舟かじもがも」と歌われている。

渡り鳥が能登半島から大陸に向かう通り道である。また、上庄川には鮭が遡上していたことが江戸時代の「村ご印」から分かる。まさに歴史と文化、自然に恵まれているところである。



▲ビオトープ・オアシス
雑木を利用して丸木橋をかけ、シヨ
ウブを移植し、魚のすみかをつくる。



▲産卵するネアカヨシヤンマ
ビオトープの池のそばの朽ち木に
産卵しているネアカヨシヤンマ。



▲モリアオガエル
産卵にビオトープの立木にやって
くる。



▲モリアオガエルのお玉
直径20cmくらいの球形で泡状の
卵からモリアオガエルのオタマジ
ヤクシがビオトープの水面に落下
する直前。



考えたこと! 感じたこと!

川遊びの楽しさ

大門 曜(2年生)

川遊びはいつもやっていることなので、生き物調べは、少しも苦にはならなかった。魚を探しているとき、魚の逃げ場をなくして捕まえるとき、ダメージを与えないように手から逃がすとき。気持ちよさは、何とも言えない。水に浸かり川底に足を入れて見上げる山の雑木林は美しい。

川の体験

坂下 陽洋(2年生)

川で魚を捕まえるために泳いだことは、楽しかった。また、石を積み上げ仕掛けを工夫し作ることが大変だった。川を逆のぼり、必死に魚を追い込むとき、足の裏に石がくい込み痛かった。しかし、とても楽しい時間であった。



▲谷筋の小川、上庄川上流で生き物調べ。

学習テーマの設定

恵まれた水環境のなかで

私たちの学校は上庄川の中流地域にあります。周辺の里山の溜め池には水生生物が豊富で、森の谷筋には川が流れる…そんな水に恵まれた環境のなかで学校に水辺を作りました。

学校ビオトープの再生

里山の水環境のネットワーク化

本庄市立西郷中学校
文芸部水環境班

発表内容

- 1 ビオトープ「オアシス」の造成
- 2 ビオトープの「生態系」
- 3 ビオトープの「トンボ」の観察
- 4 里山の小川の生き物調べ
- 5 ビオトープに移植した「水辺の植物」

学校ビオトープを造る

かつて学校の上下水道の水源だった井戸を再利用してビオトープ・オアシスを造り、生態系やトンボについて観察しました。また里山を流れる小川の生き物たちも調べました。

学習の展開

生まれ変わった湿地帯

湧き水の湿地帯をビオトープとして再生しました。タブノキや伐採した木を生かし、水深15cmと30cmの2つの池を造成。池には丸木橋をかけ、2つの池は水路で結びました。

ビオトープ造成前は、湧き水の湿地帯



さまざまな生物の営み

ビオトープ周辺には、ヤマカガシやトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、水生昆虫など、さまざまな生き物がいます。モリアオガエルの産卵や、メダカの繁殖も見られました。

トンボたちとの出会い

オニヤンマや、シオカラトンボ、イトトンボ類、ヤゴなど、たくさんのトンボもいます。朝、オニヤンマの羽化直後から観察。羽化から2時間後には、不思議な虎模様が見えました。ミズカマキリに食べられていた。

水辺に不思議な虎模様が見えます



川にも命がいっぱい

谷筋の小川、上庄川上流には、サワガニ、ドジョウ、ヤゴ、オйкаワなど、たくさんの生き物がいます。オйкаワ(オス)は産卵期。春か夏には赤色や青緑色の模様が観察できます。

生き物を日々観察する

湧き水を水源に周辺の植生を生かしたビオトープには、多くの生き物がやって来ました。溜め池や小川の生き物をビオトープに移し、日常的に観察できるようになったことも大きな成果です。

ビオトープに多くの生き物がやって来ました。

